

教育と文化

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 239

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

『ふわふわ言葉』は魔法の呪文

『ふわふわ言葉』と『ちくちく言葉』を知っていますか。小学校で子どもたちが学んでいる、人生を豊かにする言葉がけのことです。

『ふわふわ言葉』は言われてうれしくなる言葉です。例えば、「ありがとう」「がんばったね」「すごいね」「応援しているよ」など、感謝や励ましの気持ちが進められています。それに対して『ちくちく言葉』は、「バカ」「ウザい」「キモい」「むかつく」といった言われると悲しくなる言葉のことです。

このような言葉がけは、子どもだけではなく、大人社会でも同じことが言えます。例えば、職場で上司から「よくやった。引き続きよろしく頼むよ」と言われたときと、「こんなことはできて当たり前だ。もっと効率よくやれ」と言われたときでは、その後のモチベーションに大きな違い

が生じるでしょう。『ふわふわ言葉』は新たな意欲を生みだしますが、『ちくちく言葉』はやる気を奪うとともに、職場の風通しも悪くしてしまいます。パワハラにもなりかねません。

皆さんは『ふわふわ言葉』を使っていますか。子どもたちは学校で「ふわふわ言葉」をたくさん使います。そんな子どもたちの前で、私たち大人が『ちくちく言葉』を使ったとしたら、きっと子どもは混乱してしまいます。

仕事で行き詰まったときや、家事や子育てに追われているときは、知らず知らずのうちに『ちくちく言葉』を使ってしまうがちですね。そんなときには大きく深呼吸をして、鏡に向かってつぶやいてみませんか。あたたかい魔法の呪文のような『ふわふわ言葉』を。

郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑦

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 3186

新久田城跡

新久田城は別名『井出野城』とも呼ばれる、南波多町井手野字新久田の独立丘陵上に立地する山城跡です。

丘陵の最高所は現在、送電鉄塔が建てられています。が、地形から主郭があつたものと考えられます。城域の西辺には長さ約80mの空堀とそれに付随する土塁があり、城域の外側は農地造成を経て、現在は太陽光発電パネルが設置された斜面となっております。

一方で、主郭の北東側には2本の尾根が伸びており、その尾根上に連続する曲輪と堀切群が確認でき、尾根の先端部分には出丸状の空間があります。このように、一部を除いては城跡としての機能がよく残されている城跡と考えられます。

記録によれば、1341



↑新久田城跡（太陽光発電施設より奥に城跡が残されています）

年（暦応四年）に松浦氏と新久田城周辺の領地の関連を示す記述はありますが、新久田城に在城した人物についての確かな記録はありません。

新久田城跡は、現在、城域やその周辺が民有地となっており、立ち入りできません。